

## 質問コーナー その3



1. 「紀元前」「紀元後」とかは、キリスト教と関係あると聞いたのですが・・・  
紀元前＝BC、紀元後＝ADと略しますが、これは「Before Christ キリスト生誕以前」、  
「Anno Domini キリスト生誕以降」との意味があります。
2. 教会の屋根には十字架が付いていますが、どういう意味ですか？  
十字架は、今から約二千年前、神の子イエス・キリストが人類の罪のために十字架に掛けて身代わりとなり、死んでくださった事を表わすものです。
3. 結局、どの神さまを信じて同じことではないですか？  
世の中にある多くの神さまは、人間が作った神さまですが、聖書に記されている神さまは、人間を造られた神さまです。この違いは大きいです。
4. 劣等感に悩んでいます。どうすればよいでしょうか？  
私たちの心を全部ご存じの神さまがおられます。この神さまを知ると、自分が愛されていることと、自分にも得意なことがあることに気づきます。それを神さまに感謝しながら、前向きな生き方ができるようになります。
5. 悩み事を相談したいのですが、いつ行けば相談に乗ってくれますか？  
まずは、お電話をください。都合の良い日にちと時間を相談します。そして教会にお出でください。牧師や牧師夫人が相談に乗らせていただきます。無料です。



## 讃美歌を歌う会



参加  
無料

- ＊月1回 日曜日 正午からの30分間
- ＊日には掲示板でお知らせします。
- ＊老若男女を問いません。どなたでも！
- ＊毎回20～30名ほどが参加されます。

お気軽に！



## 神さまとの出会い その3

50代 男性（小野市）

私は、キリスト教のカケラもない環境に育ちましたので、キリスト教＝クリスマス程度しか理解のない子ども時代を過ごしました。

15歳で5年制の学校に入学し、寮での生活が始まりましたが、男ばかりの殺伐とした毎日で、お酒・タバコ・麻雀に明け暮れておりました。そんな時、同じ寮で徳島から来ていた同級生と友だちになり、彼が地元の女性を紹介してくれました。（今も私の横で一緒に泣いたり笑ったりしていますが・・・）

彼女とは遠距離だったので、月に1～2度の手紙のやり取りで、近況報告程度の当たり障りのない内容で5年が過ぎました。その頃から手紙には、「教会」とか「キリスト教」とか「三浦綾子さん」等の話題が多くなり、しばらくして、彼女がキリスト教の洗礼を受けたことを知りました。そんな彼女から、私の近所の教会を紹介されて22歳の頃、初めて三木栄光教会の門をくぐりました。初めて行った教会では、年配の女性がいつも優しく声をかけてくださいましたので、その後も教会に通い続けることができました。

20歳で建築会社に就職し、現場監督として日曜の休みもままならない、きつい毎日を送っておりましたが、月に1～2回届く彼女からの手紙で元気をもらっていました。そして23歳の時に結婚の申込みをしましたが、それから2～3か月便りが途絶え、これは振られたな一と思っていた頃、長い便りが届きました。それには、結婚する条件として、神さまを信じて洗礼を受けるようにと書かれてありました。

今まで比較的優等生で生きて来た自分には、「人間はみな罪人である」と書かれた聖書を読んでもピンと来ず、思い当たる事もなかったため、なかなか納得できませんでした。しかし、三浦綾子さんの本に、「罪を罪と思わないことが最大の罪である。」とあり、自分の中にある罪を示されました。その時点では、聖書の内容が100%わかったわけではありませんでしたが、その先にきっと何かがあるにちがいない、一歩踏み出してみようと思い、川を跳び越えるつもりで尾崎政信牧師より洗礼を受けました。こうして私たちは昭和57年に結婚し、神さまに守られながら、山あり谷ありの生活がスタートしたのでした。